

第3章

朝倉市の目指すべき方向



菱野の三連水車

1. 本市農業の将来像

朝倉市の農業・農村は、私たちの生活に欠くことのできない食料を供給するだけでなく、美しい自然環境の形成や水源のかん養等の計り知れない恵みをもたらしています。

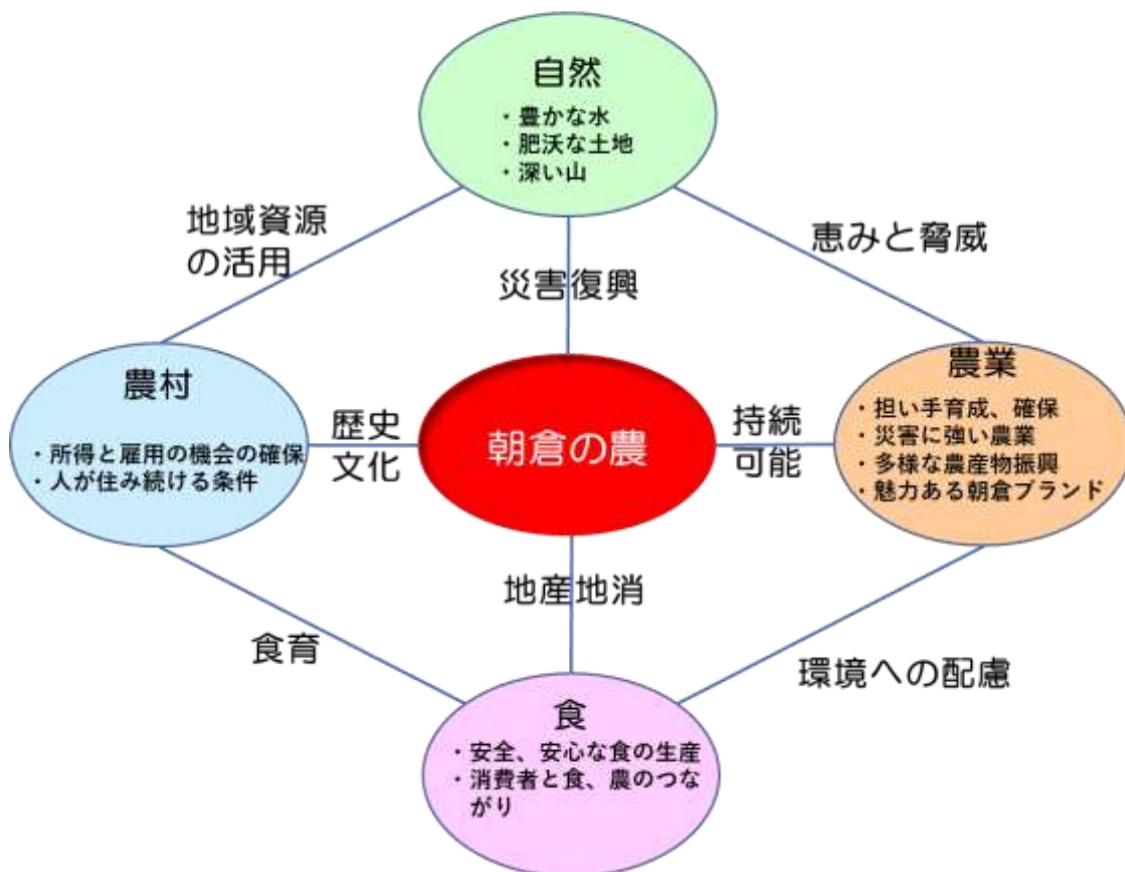
また、農業は、農家の生活を支え農村を形成しながら伝統文化を継承するほか、農村集落の活力と集落機能の維持に必要不可欠なものであり、地域社会の活動に大きな役割を果たしています。この農業・農村が市民に果たしている役割について、市民の理解を深めながら、みんなで貴重な財産として育てていくことが必要です。

朝倉市では、「平成29年7月九州北部豪雨」により、農業・農村も甚大な被害を受けましたが、復旧・復興作業も進み、元の農業・農村に戻ろうとしています。そこで、被災前よりも住民が元気と笑顔があふれ、再び輝く朝倉市の農業を目指す思いを込め、“水ひかり 復興する 新たな 朝倉の農”を将来像に掲げました。

これらのことを踏まえ、本市農業の将来像を次のように設定します。

水ひかり 復興する 新たな 朝倉の農

『水ひかり 復興する 新たな 朝倉の農』概念図



この将来像が実現すると次のような姿になります。

食料の姿

朝倉市では、安全・安心で、“新鮮”かつ“美味しさ”を求める消費者へ農畜産物を安定的に生産・供給しています。

食育についての市民の理解は深く、食をとおして健康で豊かな人間性が生まれ、また、環境問題としての食品ロス削減にも取り組んでいます。

農業の姿

朝倉市の農業は、持続可能な農業構造を実現させた担い手が育成され、農地集積などにより優良農地が確保できています。農業を成長産業とするため、「国土強靱化」の観点から、農業水利施設の長寿命化とため池の適正管理・保全が実施され、四季を通じて米や野菜、果実など多様な農産物が需要に応じて生産されています。

また、環境に配慮して生産された農畜産物やその加工品は「朝倉ブランド」として広く消費者から認知されています。

農村の姿

朝倉市の農村では、地域資源の特徴を活かした複合経営が展開され、多様な経営形態から所得確保と雇用の機会が創出されています。また、生活サービス機能を基幹集落に集約した「小さな拠点」の質的向上を図り、地域の活性化が図られています。また、直売所やグリーンツーリズムなど、消費者との交流が盛んで、外国からの観光客も増えています。

2. 基本指針

本市農業の将来像を実現するために、次の3つの基本指針を柱として施策の推進に取り組みます。

I 食料の安定供給の確保

1. 安全・安心な食の生産

- ・消費者の視点に立った安全・安心、“新鮮”かつ“美味しさ”を求める消費者が満足する食料を安定的に供給します。

2. 消費者と食・農とのつながり

- ・食育については、家庭や地域、保育所（園）、幼稚園、学校、生産者、事業者、食に関わる各種団体、行政などが協力し推進します。
- ・市民一人ひとりが、健康で豊かな食生活を実践できる環境づくりや食品ロス削減の取り組みを推進します。
- ・直売所・農業団体・販売店等との連携を深め地元農産物の需要拡大を図るとともに、学校等の給食、旅館・飲食店等における利用拡大をとおして、地産地消の推進に取り組みます。

II 地域資源を活かした農業の持続的発展

3. 持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保

- ・地域農業を支える農業の担い手の育成・確保に努めます。
- ・経営継承や新規就農、人材を育成します。
- ・復旧後の営農再開を支援します。
- ・担い手が活躍できる優良農地を確保します。

4. 災害に強い農業を実現する生産基盤の整備

- ・農業水利施設の保全管理を計画的に進めます。
- ・農村地域の国土強靱化を目的として、防災・減災対策を行います。

5. 多様な農産物の生産による農業の振興

- ・需要構造の変化に応じた生産体制を強化し、生産の振興を図ります。

6. 魅力ある新たな特産農産物の振興

- ・地域性を活かした特産農産物や農産加工品の生産、販売を促進します。
- ・環境に配慮した農業を推進します。

III 魅力と活力のある農村の振興

7. 地域資源を活かした所得と雇用機会の確保

- ・地域の特性を活かした多様な農業経営を推進します。

8. 農村に人が住み続ける条件整備

- ・地域コミュニティ機能の維持や強化を図ります。
- ・消費者との交流を促進して地域の活性化に取り組みます。

3. 施策の体系

3つの「基本指針」の実現に向け、8つの「基本目標」の柱ごとに施策事業を体系化しています。

基本指針	基本目標	単位施策	個別施策		
Ⅰ. 食料の安定供給の確保	1. 安全・安心な食の生産	(1)安全・安心な農産物の安定的な生産の推進	①生産履歴管理システム等の活用・促進		
			②管理機能等の強化		
		2. 消費者と食・農とのつながり	(2)食育の推進	①家庭・地域における食育の推進	
	②学校・保育所等における食育の推進				
	③食品ロス削減の推進				
	(3)地産地消の推進	(3)地産地消の推進	①消費者ニーズの把握による地産地消の推進		
			②給食における地産地消の推進		
			③市内における地元農産物の流通拡大		
	Ⅱ. 地域資源を活かした農業の持続的発展	3. 持続可能な農業に向けた担い手の育成・確保	(4)認定農業者制度や法人化等による経営の発展	①担い手への支援	
②農業経営の法人化					
(5)経営継承や新規就農、人材の育成			(5)経営継承や新規就農、人材の育成	①次世代の担い手への円滑な経営継承	
				②青年等への新規就農と定着促進	
				③女性が能力を発揮できる環境設定	
				④企業の農業参入	
(6)復旧後の営農再開支援			(6)復旧後の営農再開支援	①区画整理型復旧地区の整備後の営農再開支援	
		②複合経営の推進			
(7)担い手等への農地集積・集約化と農地の確保		(7)担い手等への農地集積・集約化と農地の確保	①担い手への農地集積・集約化の加速		
			②荒廃農地の発生防止		
4. 災害に強い農業を実現する生産基盤の整備		(8)農業水利施設の計画的な保全管理	(8)農業水利施設の計画的な保全管理	①農業水利施設の長寿命化推進	
				(9)農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策	(9)農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策
(9)農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策		(9)農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策	②防災・減災対策の優先度重点ため池の対策		
			5. 多様な農産物の生産による農業の振興	(10)需要構造の変化に応じた生産体制の強化	(10)需要構造の変化に応じた生産体制の強化
②野菜の生産体制強化					
③果樹の生産体制強化					
④花き・花木の生産体制強化					
⑤畜産の生産基盤の強化					
⑥スマート農業の推進					
6. 魅力ある新たな特産農産物の振興	(11)地域性を活かした特産農産物や農産加工品の振興	(11)地域性を活かした特産農産物や農産加工品の振興	①民間との連携による農産加工品開発の推進		
			②新たな販売戦略の確立		
(12)環境に配慮した農業等の推進	(12)環境に配慮した農業等の推進	(12)環境に配慮した農業等の推進	①環境に配慮した農業の推進		
			②資源循環型農業の推進		
Ⅲ. 魅力と活力のある農村の振興	7. 地域資源を活かした所得と雇用機会の確保	(13)地域の特性を活かした多様な農業経営の推進	①中山間地域の特性を活かした農業の維持		
			②地域資源活用の推進		
			③農福連携の推進		
	8. 農村に人が住み続ける条件整備	(14)地域コミュニティ機能の維持や強化	(14)地域コミュニティ機能の維持や強化	①「小さな拠点」形成の推進	
				②多面的機能の維持	
				③生活インフラ等の確保	
		(15)消費者との交流促進	(15)消費者との交流促進	(15)消費者との交流促進	④鳥獣被害対策の推進
					①農村文化・資源の保全・活用
					②農村と都市の交流促進
③インバウンド対策					